

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム神苑

平成27年3月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	39	①手足の爪切がきちんとできていない ②衣類の乱れや汚れがみられる ③起床後の髪の毛の乱れや洗顔後にも眼脂がついている ④髪の毛の伸びや色を気にされるかたがおられる	爪切や耳垢とり等、衛生面への対応と、日常的な身だしなみへの気配りを行う	①定期的や入浴後に爪切り等実施する ②トイレ後や起床後等衣類を整える。食後の衣類汚れ等の着替えを援助 ③起床後の髪や洗顔援助 ④散髪や染髪への支援	12ヶ月
2	42	①高齢に伴う嚥下性肺炎の予防が必要と思われる。口臭・歯肉からの出血への対応が不十分。 ②歯磨きの際に磨き残しがある。歯磨き介助を嫌がられ、口腔内残渣の除去の困難さがある	毎食後の歯磨き援助や、個々に応じた用具の選定や交換援助を行う。口腔衛生の保持に努め肺炎等のリスクを減らす。	①むせ込みや嚥下機能の低下等にや口臭の度合いや出血時は専門医へ相談受診対応しケア指導を受けながら改善を図る ②毎食後の歯磨きの確認と特に夕食後の歯磨き口腔内残渣除去に努める用具の考慮 ③口腔体操の継続行う	12ヶ月
3	40	食事の献立が均一化しており、食に対しての関わりも少なくなっている	昔なじみのある調理法や味付け、また季節の食べ物づくり（梅干し・旬の物を利用した漬物・おはぎ等）へ一緒に参加頂く。現有能力の活用に努め、個々にあった作業提供する。	①食事提供前に献立を説明する ②献立の見直しと職員間での助言が出来る環境作り。 ③利用者からも季節の食べ物や献立を尋ねる。味見や下拵えに関わって頂く	12ヶ月
4	36	昨年からの逆転の発想での『不適切なケアの改善』への取り組み中で、少しずつは意識が出来てきているが、本年も継続した目標としてあげる。	昨年度に続き『良いところ・すばらしいところ』をお互いに伝え、意識づけを行い、更なる質の向上に努める	①利用者への尊敬を持った対応についてカンファやミーティングで話し合っていく。 ②毎月の全体ミーティングで良いところを伝え、意識づけを図る。 ③お互い常に話し合いが出来る職場環境を目指していく	12ヶ月
5	34	新人職員はなおの事、中堅職員においても急変時の対応に不安がある。	急変や事故発生に対して、適切な対応が図れるように研修等で学ぶ	①今年度は消防署で行われる救命教習を全職員が受ける様に計画する。 ②病気についての知識を得る事で急変時への対応や予測する力を付ける ③怪我等の対応法学ぶ	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。